

令和7年度使用中学校用教科用図書の「採択教科用図書」及び「採択理由」

【道徳】

1 採択教科用図書

- 光村図書

2 採択理由

(1) 光村図書は、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて、次のような編集がなされている。

- 道徳科の目標を達成するために、9つのテーマでゆるやかに全教材をユニット化し、異なる内容項目からテーマにアプローチすることで、多様な学びができるような構成・配列の工夫が見られる。
- 主体的・対話的で深い学びができるように、「考えよう」では2つの問いで学びのテーマに迫り、「チャレンジ 問いを立てよう」では、生徒自らが問いをもち、探究することができるような工夫が見られる。
- 生徒にとっての分かりやすさについては、「考えよう」では学びのテーマを示し、テーマに迫るための2つの問いや発展的な問いを示すことで、生徒が1時間の学びの流れを見通しやすくするような工夫が見られる。

(2) 光村図書は以下の点で、特に本地区の実態に合致していると言える。

- 家族の内容については、家族愛をテーマとしたエッセイを教材として取り上げることで、家庭の役割や家族の一員としての自分の役割を考えさせるなど、自分と家族についての考えが深められるような工夫が見られる。
- 地域の内容については、様々な地域や伝統文化に触れる教材を取り上げることで、多様な価値観に触れながら、地域の伝統文化のよさを大切にする心を育むことができるような工夫が見られる。また、巻末にある日本における郷土玩具や伝統文化、先駆者に関する資料を活用することにより、地域のよさに興味をもたせ、郷土の伝統文化に対する考えを深めることができるような工夫が見られる。

椎葉村教育委員会においては、北部採択地区協議会での「研究資料」及び専門委員の報告に対する質疑・応答後の選定結果を参考に、教育委員による協議がなされ、光村図書の教科用図書が最適であるとして採択した。